

コラム読み表現力磨く

月1、2回、授業前の10分間に1面などのコラムを読んでいる。社会の動きや情報を知るだけでなく、感

コラムを読み感想をまとめる生徒たち＝出水市の野田女子高校



野田女子高校（出水市）

じたことを文章にまとめて表現力を磨く。友だちの感想にも目を通して、一つの事柄にも多様な意見があると認識できるという。3年の野村こはるさんは「新聞を通して政治やスポーツ、地域について知ることができ、考えをまとめられる大事な学習」と語る。

家族、友人と記事を読んだ意見や感想を募る日本新聞協会の「いっしょに読もう！新聞コンクール」では5年連続の学校奨励賞を受けた。NIE担当の西園義和教諭（55）は「記事から文章の書き方を学べる。入試や就職試験の際には、自分の考えを表現するのに役立つ」と話す。

（清水裕貴）

鹿児島県内で2023年度にNIE（教育に新聞を）実践校に指定された13校が、新聞を活用した授業などに取り組んだ。各校が進める活動や授業の様子を紹介する。

かごしま NIE実践校

記事から季語探し句に

「新聞記事から季語を見つけよう」。5年1組担任の川本由香利教諭（42）が呼びかけた。月1回取り組み

クロナリハイクに取り組む児童＝鹿児島市の向陽小学校



向陽小学校（鹿児島市）

「クロナリハイク（黒塗り俳句）。児童たちは記事を読むと、季語と気に入った言葉を残して周りを黒ペンで塗りつぶし、五・七・五を完成させる。

〈始業式 正月満喫 生徒たち〉。西晟司（しんじ）さんは、郡山小の始業式を取り上げた記事を題材に作句した。「言葉を見つけるのが宝探しみたい」と西さんは楽しむ。

クロナリハイクは愛媛新聞の販売店所長が考案し、コンテストも開かれている。川本教諭は「知らなかった言葉と出合い語彙が増えるだけでなく、地域や社会にも興味関心が広がる」と手応えを感じている。

（中原克巳）